

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	森戸 雅子	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(保健看護学)	
学位授与番号	乙第34号	
学位授与日	令和2年3月20日	
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当	
論文題目	自閉スペクトラム症児と家族と支援者をつなぐ感覚特性サポートアプリケーションの開発	
審査委員	教授 波川 京子	教授 富田 早苗
	教授 武井 祐子	

博士論文内容の要旨

地域で暮らす自閉スペクトラム症(ASD)児の家族が、支援者と主体的な情報交流することとライフステージに対応した継続支援を目的として、容易に持ち運び可能なASD児と家族と支援者をつなぐ感覚サポートアプリYOUSAYの開発を行った。

YOUSAYは、地域で暮らす多くのASD児が有する感覚特性にともなう日常生活上の苦痛や困難について、対処する家族の負担を軽減するために多職種協働開発したスマートデバイスに対応したアプリケーションである。

開発アプリはiPad上で動作し、開発にはFileMaker社製FileMakerPro14を用いた。児の感覚特性に分類して、すきなこと、きれいなことおよびその対処を記録することができる。電子媒体で記録することで多大な情報の記録・整理が行え、児の情報をこれまでより容易に共有できる特徴がある。

アプリケーションに家族が入力した膨大な情報を、短時間の検索でどの情報を優先的に提示するかなどの課題が残されている。今後、この課題を、家族及び専門職や支援者双方から検証していく必要がある。

博士論文審査結果の要旨

1月14日の審査委員会では、①ASD児の感覚特性の社会的認知が低く、児の行動を支援者と家族が共有していくツールがないことを強調すること、②そのために本研究でのアプリケーション開発が求められていること、③対象児の表現が自閉症児、発達障害児、ASD児など混在していることから「自閉スペクトラム症(ASD)児」の表記に統一すること、④成果物としてのアプリケーションを提示すること等加筆修正することを求めた。

1月22日の最終試験の口述試験では、審査委員会で指摘した内容の修正がされていた。本研究の特殊性(登録商標取得、特許申請)を適格に説明し、アプリケーションの活用方法やデータ収集と分析方法の質問にも適格に回答していた。よって、博士論文(乙)の最終試験の結果を「合格」とした。